

# 令和8年度 学校経営計画書

石川県立寺井高等学校
学校長 宮岸 祐介

## 1 教育目標

高く調和の取れた知性と豊かな人間性を涵養し、健康でたくましい体力を育成する。

## 2 中・長期的目標

### (1) 学校の現状

- ① 能美市・郡唯一の県立高校であり、将来にわたり地元で定住する卒業生も多いことから、地域との連携を密にし、地域のニーズに対応するとともに、地域住民と協働した防災避難訓練を実施するなど、地域と連携した活動を推進し、生徒の社会貢献に対する意識と防災意識を高めている。
- ② 総合学科の特色を活かし、社会の変化や生徒の進路希望に対応したカリキュラム編成をもとに、3年間を見通したきめ細かな指導を展開し、一人ひとりの生徒の進路実現を図っている。
- ③ 部活動の活性化や体験活動の充実を掲げ、社会人基礎力を身につけた心豊かでたくましい生徒の育成に取り組んでいる。

### (2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 自己の将来を考え、基礎的な知識・技能と基本的な生活習慣を確立させ、豊かな心と健康な身体の保持増進に努めるとともに、安全を意識して社会に貢献できる人間を育成する。
- ② コミュニケーション能力を高め、仲間と充実した高校生活を送る、自己肯定感を備えた人間を育成する。
- ③ 勉学や部活動を通して切磋琢磨し、目標に向かって努力するたくましい人間を育成する。

### (3) 教職員、学校組織の望ましい在り方

- ① 教職員一人ひとりが学校経営への参画意識を備え、時代の変化に対応した組織的、効率的な業務の遂行に努める。
- ② ワークライフバランスを保ちながら、自らの資質向上に努めるとともに、若手教員への指導を積極的に実践する。
- ③ 学校情報の適切な発信と外部評価を通して、保護者や地域の信頼と期待に応える、安全・安心な学校を目指す。

## 3 今年度の重点目標

- (1) 総合学科の特長を活かし、GIGAスクール構想を踏まえた、個別最適な学びの授業実践を通して、確かな学力と個に応じた進路実現を図る。
- (2) 授業及び部活動や体験活動を柱として、生徒のコミュニケーション能力や規範意識、自律心及び自己肯定感の向上を図り、社会を生き抜く逞しい人間力の育成に努める。
- (3) SCH（スーパー・コミュニティ・ハイスクール）として、地域連携の充実や学校情報の積極的発信、学校業務の効率化を図り、保護者や地域に信頼される学校づくりを推進するとともに、生徒が主体的かつ能動的に地域の活性化に貢献するための資質・能力を育む。
- (4) 教職員・生徒が非常時にリーダーシップを発揮できる自律的な行動力を養うとともに危機管理意識を高め、安心して学校生活を送れるよう安全管理を徹底する。